

「モツタイナイ」を「もつといい」へ

今、私たちの生活環境の中には「モノ」が溢れています。便利で快適な生活を送るために、次々と新しい「モノ」が生み出されます。「モノ」を生み出す過程では、実に多くの捨てられる「モノ」が生み出されます。

製造過程における原材料、資源の最適利用、廃棄物を最小化する取り組みとして私たちに何ができるでしょうか。

学生たちが廃材を利用した新たな価値の創出に挑みました。

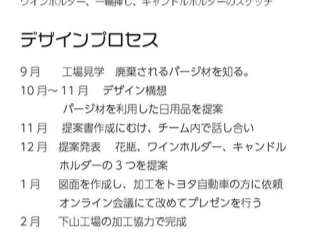
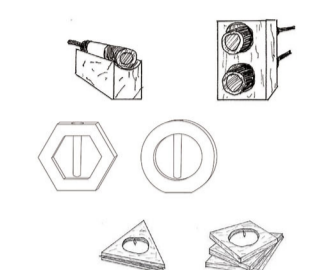
パージ材を利用して高級感を感じるアイテムをデザインしました。

嶋田歩優希、平澤愛子

パージ材を型に入れて固めたものは大理石に似た高級感があります。ワインホルダーや植木鉢と合わせたモダンな1輪挿し、薄くスライスしたパージ材を重ねて組み合わせてできるキャンドルホルダーを制作しました。廃棄物とは思えない、特別な雰囲気のある作品を作ることができました。



工場見学で初めてパージ材を知りました。他の廃棄物とは異なり工業製品らしくなく、印象に残りました。パージ材を型に入れて固めたものは大理石に似た高級感があります。ワインホルダーや植木鉢と合わせたモダンな1輪挿し、薄くスライスしたパージ材を重ねて組み合わせてできるキャンドルホルダーを制作しました。廃棄物とは思えない、特別な雰囲気のある作品を作ることができました。



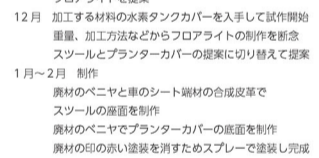
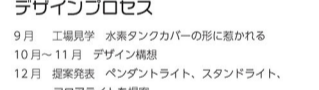
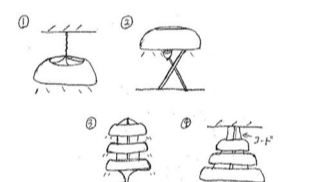
水素タンクの廃材をアップサイクルしました。

原田茉奈、山口真由

水素タンクの廃材を利用してプランターカバーとスツールの制作をしました。丸い形を活かして幅広いプランターカバーはおしゃれなイメージになりました。スツールのシート部分には、車のシート素材を使用しました。



はじめは、お皿の形が特徴的で、ランプシェードになるのではと大きく提案しましたが、工場見学の際に見た水素タンクカバー（写真）と、入手できたものの形が違い、実物を持ってみると想像していたよりも大きく、加工方法がわかりませんでした。フロアライトの制作に切りかざりでしたが制作は難航し、最終的にランプシェードの制作はあきらめざるを得ませんでした。提案通りには作れないことを覚悟しました。実際の材料で組み合わせて考えながら作りかざるを得ませんでした。最終的に車載用のプラスチック製のシート素材が、あ



り、1葉は、ゴム性の水素タンクカバーを組み合わせたことでスツールを提案し、もう1葉は曲線の形を活かした幅広いプランターカバーを提案しました。スツールの座の部分は、廃材のベニヤと車のシートの合成皮革の廃材を利用しました。廃材の印である赤い塗装を消すための塗装を行いました。ゴム性の水素タンクカバーは2種類あり、大小のサイズを組み合わせて使い、丸い形を活かした幅広いプランターカバーはおしゃれなイメージとなりました。



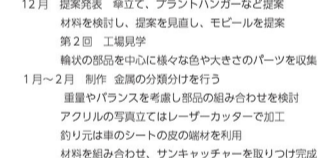
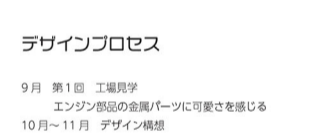
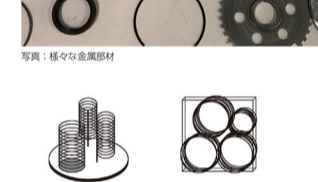
金属部材の廃材をモビールにしました。

石田知暖、森 菜摘

大小さまざまな色や形状をした金属部材を組み合わせて、楽しく動きのあるモビールにアップサイクルしました。サンキャッチャーや、写真を取り込みのアクリル樹脂を組み合わせ、おしゃれな雰囲気のあるインテリアグッズに仕上げました。



初めての工場見学で一番印象に残ったのは、エンジン部品の金属パーツでした。同じ金属であっても形や大きさ、色も様々で、パーツ自体の質感や表面の凹凸、思わず「可愛い」と感じ、これらに想像を膨らませていくうちに、おもしろいモビールが完成しました。最初は、お皿の形を活かして幅広いプランターカバーはおしゃれなイメージになりました。スツールのシート部分には、車のシート素材を使用しました。



可動なパーツに目を惹かれました。お皿の形を活かして幅広いプランターカバーはおしゃれなイメージになりました。スツールのシート部分には、車のシート素材を使用しました。



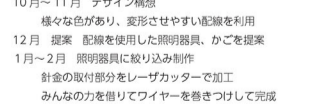
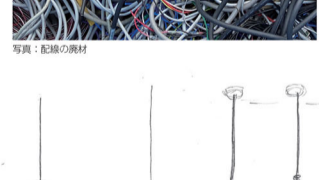
配線の廃材を照明器具にアップサイクルしました。

金森柚香、楠 稀璃

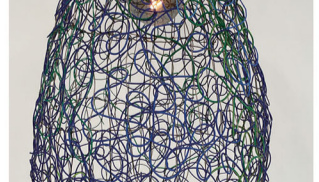
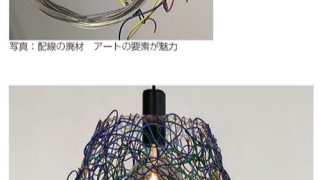
配線は色とりどり、細いものから太いものまでいろいろあります。廃材と感じさせないようにするために華やかな印象を出したいと思いました。ベース部分をアルミの封金で作り、そこに配線の廃材を巻きつけ、光から漏れる影も楽しめる、楽しい照明器具をデザインしました。



工場見学では廃材にはさまざまなものがある事を知り、きれいな物や使える物が多いと感じました。多くの廃材の中で、配線の廃材には様々な種類があり、封金のように変形させやすい配線を利用して、ワイヤーフレームのように作るのではなかったかと考えました。配線は白色だけでなく様々な色があり、廃材のイメージを豊くするため、綺麗で華やかな印象のあるものにしようと思いました。最終的に小さな作品を作ろうと考えましたが、最後はいろいろな形に挑戦したいと思いました。



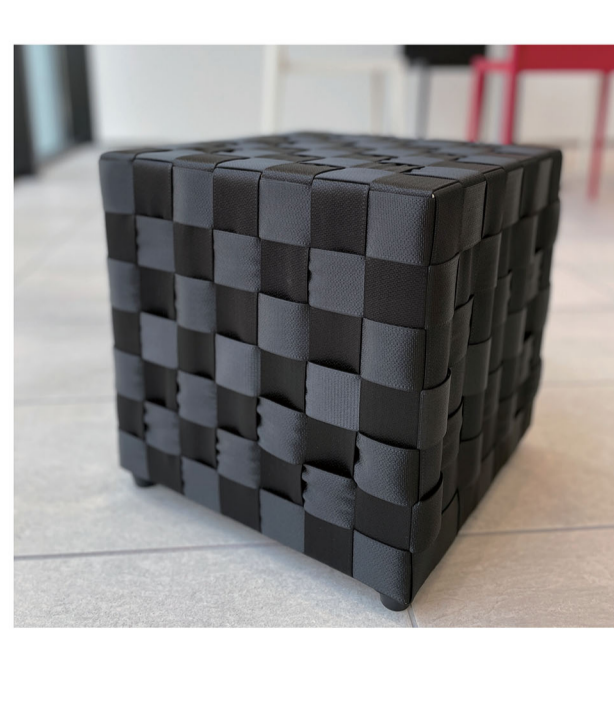
イベントで展示するため、少し活があるような大きさとデザインになるようにしました。ソケットの部分は市販品を使い、アルミの封金を使って大枠を作成し、そこに配線を取り付けていきました。ワイヤーフレームのように作るのではなかったかと考えました。配線は白色だけでなく様々な色があり、廃材のイメージを豊くするため、綺麗で華やかな印象のあるものにしようと思いました。最終的に小さな作品を作ろうと考えましたが、最後はいろいろな形に挑戦したいと思いました。



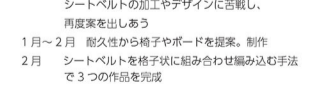
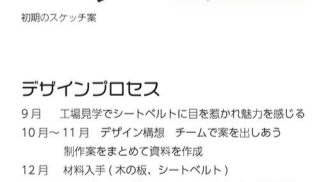
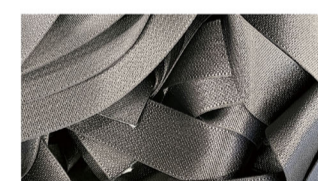
耐久性に優れたシートベルトを家具にしました。

鈴木美穂、長谷川真由、藤本慧

シートベルトは強靭があり、とても高級感があります。耐久性に優れたため、家具の座面にしても大丈夫です。帯状の特性を活かして椅子のデザインにすることで、モダンでクールなインテリアにもよく似合います。椅子のデザインにマルテアにもよく似合います。椅子のデザインにマルテアにもよく似合います。椅子のデザインにマルテアにもよく似合います。



しなやかで耐久性のあるシートベルトに魅力を感じ、提案することになりました。12月の工場見学で、コインケース、カッパフォルダー、マルテアなどの廃材を探りました。しかしながら、シートベルトを使用したバッグなどはすでに展示されていたため、もう少し大きな作品づくりに目を向け、まずはマルテアを制作し、目印を置く。光沢のあるシートベルトを椅子状にしたデザインはともなモダンでクールな印象が上がり、しかも高級感も出



提案することになりました。12月の工場見学で、コインケース、カッパフォルダー、マルテアなどの廃材を探りました。しかしながら、シートベルトを使用したバッグなどはすでに展示されていたため、もう少し大きな作品づくりに目を向け、まずはマルテアを制作し、目印を置く。光沢のあるシートベルトを椅子状にしたデザインはともなモダンでクールな印象が上がり、しかも高級感も出

